

「がんかわら版 出前屋」

「がんかわら版 出前屋」プロジェクト前期実施報告書

今年度目標のワンクールを終えて見えて来た物

「がんかわら版 出前屋」プロジェクト
代表 三木 雅貴
那覇市松川 2-4-10-902 T&F098-884-0345
E=mail inomiki1104@tea.ocn.ne.jp
2010/05/14

【「がんかわら版 出前屋」プロジェクト前期実施報告書】

此のプロジェクトに関しましては、昨年度期末期にご紹介させて頂きました、「地域発：がん対策市民協働プログラム」の一環として「市民医療協議会がん政策情報センター」の助成に依りスタート致しました。

本プロジェクトは端的に申し上げますと、がんに関連する様々な情報に手が届かない県民(がん患者関係者も含めた生活者)へ必要な情報をお持ちしながら、人のネットワークを構築する事を最終目的としたプロジェクトです。

二月宮古地区を皮切りに、今年度重点地区とさせて頂きました、八重山・与那国地区、両大東島を訪ねさせて頂きましたので実施報告書に纏めさせて頂きました。

■実施データの分析

○各開催地データ(開催時期・開催地・配布資料数・来場者数(男性))

①宮古地区(実施期間 2/24~28) 配布資料部数約 380 部

多良間島※₁※₅19(2)・伊良部島フェリー待合棟 10(3)、伊佐 JA 店頭※₅12(2)・宮古島市内サンエー店頭※₂※₅26(3)、西里 JA 店頭※₅8

②八重山・与那国地区(実施期間 3/29~4/6) 配布資料部数約 600 部

与那国島※₅14(3)・鳩間島※₄※₅15(5)・西表島祖納※₅13(1)、上原※₅12(1)、大原※₅18(3)・黒島※₄3(2)・小浜島※₅6(1)・石垣島白保朝市※₅8(1)、前里マックスバリュー店頭※₅23(2)・波照間島 5(2)・竹富島 3

③両大東島(4/20~22) 配布資料部数約 210 部

南大東島※₄6(1)・北大東島 19(3)※₅

※₁シルバー人材センターより 2 名のサポーターの支援を戴く。

※₂宮古市健康推進センターより 2 名のサポーターの支援を戴く。

※₃民間のボランティアサポーター、2 名の支援を戴く。

※₄公共関連施設(公民館軒下・保健センター)にて開催。

※₅がん患者・サバイバーの方(自己申告)が来場いただいた開催場所。

○ワンクールを総括致しますと

- ・総開催場所数 18ヶ所
- ・開催場所の内訳 民間スーパー・商店等 16ヶ所、公共関連 2ヶ所
- ・総来場者数 220名(平均来場者数 12.22名)
- ・総配布冊子部数 1190部(一人当たりの平均配布数 5.4部)
- ・配布実施平均時間 3.67時間

○ワンクールでの協力・支援を戴いた企業・団体・個人・報道関係

・関係行政(がん関連啓発支援の取り組みとして)

沖縄県福祉保健部 医務課、国保・健康増進課、宮古福祉保健所、八重山福祉保健所、

・関係地方行政・団体(何らかの支援を戴いた)

宮古市役所 福祉保健部健康増進課、宮古市健康推進センター、多良間村役場 住民福祉課、多良間村福祉センター シルバー人材センター、

与那国町 長寿福祉課、石垣市 保健福祉部健康福祉センター、竹富町役場 健康づくり課、鳩間公民館長、黒島公民館長、小浜島公民館長、

南大東村役場 福祉民生課、北大東村役場 福祉衛生課、

・医療関係機関(がん情報紙の提供)

琉球大学医学部附属病院 がんセンター

・民間企業・団体(何らかの協力・協賛を戴いた)

JA おきなわ多良間支店、A-コープ佐良浜店、株式会社サンエー、JA おきなわ「あたらす市」、民宿「もりたや」、総合型ひららスポーツクラブ、

八重山観光フェリー株式会社、有限会社安永観光、福山スーパー、民宿あけぼの館、星砂スーパー、

川満スーパー、玉盛スーパー、金城商店、WWF サンゴ礁保護研究センター「しらほサンゴ村」、

マックスバリュ어야いま店、琉球ジャスコ株式会社 環境・社会貢献部、名石部落協働売店、

JA おきなわ北大東支店、

・個人ボランティアのサポーター

西表島で2名のご協力戴きました。

寄付を頂いた方が1名おいでに致します。

※氏名公開に関しまして本日現在了解頂いて居りません。

※情報をお寄せ頂いたり、広報をお手伝い戴いた方々は多数おいでに致しますが、今回、現場実施報告と言う形を取らせて戴きましたので、割愛させて戴きました。

・報道・メディア関係(直接取材の上内容を掲載及び報道して戴いた件に限定)

宮古新報、宮古毎日新聞社、宮古テレビ、八重山毎日新聞社、八重山日報社、

○来場者の特色

・基本的に、殆どの開催場所で中年以降の女性の方々が大半を占めており、**男性の方々はほんの一握り**と云った処でした。

・特に、多良間島・与那国島・鳩間島・小浜島に置かましては、来場頂いた殆ど方が高年齢者と言っても過言では在りませんでした。

・一点、石垣のマックスバリュ어야いま店での開催は、日曜日と言う事も関係が在ると考えられるのですが、非常に年齢層も下がり、本来のターゲットで在る **30歳半ば~40歳前半の方々が来場頂き**、其の上に、子供ずれでの来場が目立ちました。

・がん患者・がん患者関係者の来場に関しましては、ほぼ**全開催地で来場戴きました**。

がん情報の乏しさを嘆いて居らっしゃいました。

・がんに関する行政の動きに関しては、ほぼ全員が、TVによる情報以外、入手去れて居ませんでした。

○開催場所で提供させて戴いた資料に関しまして

- ・今回配布させて戴いたがん関連情報資料は以下の機関で発行去れて居る冊子を配布させて戴きました。

国立がんセンター がん対策情報センター、財団法人 がん研究振興財団

- ・配布冊子と致しましては、各種がん種別冊子を中心に、予防啓発関係、小児がんシリーズ、がん発病支援関係、がん患者支援関係等、約 45 アイテムを提供。

※上記配布資料は無償にて下記の機関から提供頂きました。

沖縄県福祉保健部 国保・健康増進課、琉球大学医学部付属病院 がんセンター

○開催広報の方法に付きまして

大きく分類致しますと 4 点の方法に為るかと考えます。

- ・地域新聞(新聞社により開催期間 2 回掲載戴いて居ります)への掲載のみ
多良間島※₆・伊良部島・宮古島※₆※₇・与那国島・石垣島※₆・波照間島・竹富島

- ・地域新聞・島(村)内放送併用
鳩間島※₈・西表島※₇・黒島・小浜島※₇

- ・島(村)内放送のみ
北大東島※₉

- ・一切の広報無し
南大東島

※₆多良間島に関しましては、新聞情報も間に合わなかったのではないかと思います。人コミュニケーションの強みを確認出来ました。

※₇開催場所へ新聞を見てと名乗って戴いて尋ねて頂いた方(10 名)がお出でに為りました。

※₈集落の世帯数が少なく高齢化が進み、島(村)内放送より口伝が間違い無いと云う事で、全世帯数の半数以上の方々が訪ねて頂きました。

※₉前日・開催時間前とこまめな島(村)内放送の広報支援を戴きました。

■開催場所に置いて質問(セミアンケート)をさせて戴いた内容について

○質問内容は

- ①インターネットを使用出来るか、見られる環境に在るか否か。
- ②今まで、がんに関する情報(インターネット・冊子等)に触れる事が在ったかどうか。

○回答内容は

- ①来場者の内、在ると答えて戴いた開催場所と人数
 - ・ 1 名 伊良部島、西表島大原、宮古西里、石垣白保、
 - ・ 2 名 宮古市内、西表島上原、
 - ・ 3 名 北大東島、
 - ・ 4 名 石垣前里、

合計 15名(全来場者の0.68%)

②テレビの特番等では観た事が在るが、今まで観た事が無いと云う方が殆んどで在った。一部地域新聞で、ご覧に為った事は無いかという質問をさせて戴きましたが、まず目にする事が無いとの事でした。

※※₅で来場いただいた方内、**がん患者さんが2名、がん患者の家族が2名**お出でに為りましたが、此の内**3名の方がインターネットを使用出来る環境**に在る、と答えて戴きました。

※携帯電話のメールならと答えて頂いた方が約3割強お出でに為りました。

■開催場所で拾った声(ランダムに掲載)

○来場頂いた方の声(質問も含む)

- ・がんの種類がこれ程在るとは知らなかった。
- ・今までがんの情報紙等観た事が無いし、何処に在るのかさえ分からない。
- ・行政主催なのか？医務関係機関主催なのか？何で民間がやってくれるのか？この様な件は少なくとも行政が取り組む事ではないのか？
- ・何故、行政はこんなに在る情報を解る様にしてくれないのか！
- ・がんに為ったならば何処に行けば良いのか、矢張り本島(流大病院)か？
- ・がんに関しては宮古、八重山では駄目でしょ！
- ・がん情報に限らず、もっと様々な(活きた)情報が欲しい。
- ・もっと早くにこの様ながん情報が在れば良かったのに！
- ・がん医療者・医療機関の客観的且つ具体的な情報が欲しい。
- ・無料で在れば戴きたい、有料で在るならば考えて仕舞う。
- ・タバコはがんに関係すると聞いているが、此方では殆んどお構い為したが、本当は如何にかしてほしい。

※ほぼ全会場でお声がけ戴いた言葉が“ありがとう”でした。

○行政関係者の声

- ・こんなにがん情報に関する資料がはけるとはおもわなかった。
- ・検診等の場所ではなかなか手に取って貰えない。
- ・民間が、何でそこまでやる必要が在るのか！
- ・何も商店やスーパーの店頭で遣らなくても、公民館、保健センター、市役所(役場)の玄関で遣れば良いではないか。
- ・此の冊子全て一部戴きたい、離島の我々(医療・行政関係者)まで回って来ませんので。

■前期実施内容の分析と今後の在り方に付いて

○開催場所に関しまして

- ・島内1箇所増やすべきではないかと判断した離島。
与那国・伊良部島
- ・島内2箇所増やすべきと判断した島。

宮古島・石垣島

依って、ツウクール以降は**約 24 箇所にて開催**。

※どのケースに置いても、本プロジェクトの基本的な理念から行けば、人口が少なくとも、纏まった集落で在って情報を必要と去れて居る事が、合致する限りは開催するべきと判断致しました。

○来場者のターゲットに関しまして

- ・非常に難しい問題ですが、ターゲット層に関しては、現状で間違いが無い様に思います。
- ・時間を掛けて声を掛けて行くしか無いのか、と悩んでいますが、開催場所は生活者が立ち寄り易い環境に在ります、ターゲットと為る方々も我々の存在が気に為ってはおられる様です。**信用を戴く時間が必要**かと考えます。依って、来場者数を大幅に増やす事に重きを置かず、コミュニケーション重視で行きたいと考えます。
- ・出店場所を心快く提供頂いている方々※の、協力が依り以上得られると今回確信致しました、其の方々を窓口とした、ネットワークを考慮する必要が在るのではないかと考えて居ります。

※出店場所を提供頂いた民間企業のほとんどは、**女性中心の職場で我々がターゲットと考える年齢層の方々**で、生活状況がマッチして居ります。

○配布用情報提供資料に関しまして

- ・先ず、第一に一般生活者向けのがん関連情報紙が、基本的に全国の公的機関の何処にも在りません。矢張りこの問題に関しては、**がん早期発見、予防、検診率の向上をがん対策の前提**と考えるならば、全県民的な取り組みが求められて居り、**一般生活者が手に取れる、がん関連基本知識情報紙の編纂が必要**であると考えます。
 - ・**県行政のがん対策に関連する情報**は、ほぼ 100%に近い方々の処には届いて居りません。国の「がん対策基本法」を始めとして、**沖縄県「沖縄県がん対策推進計画」「沖縄県がん対策推進計画アクションプラン」**に置いては、**存在さえ知る由も無い**と云うのが現状です。矢張り、早急に内容が簡単に理解出来る、**簡易な情報紙が必要**と考えます。
 - ・**医療関係機関のがん対策推進の役割**に付いてですが、此の件も役割を始めとし、現在取り組んでいる「**沖縄県がん診療連携協議会**」「**がん対策に関するタウンミーティング**」等が、がん対策推進計画のどの様な位置付けの物で、どの様な効果が得られるのかと言う点に付いても、**何もご存じないのが**現状でした。始めから県民に知って貰おうと云う対策が施されて居りませんので、当然云えば当然ですが。此の件も当然ながら**取り組みの役割・効果を広域に提供すべき冊子が必要**だと考えます。
- ※今回、本プロジェクトで回らして頂いた、離島の現場からの生の声にも、其の事が裏付けされて居ると考えます。

○開催広報の在り方に付いて。

- ・今後の本プロジェクトの開催予告広報の在り方に付きまして、**基本的には現状をベースに**、集落の少ない村落に付きましては、開催場所での早目なポスター(簡易な)等による告知を、付加する必要があるのではないかと考えて居ります。
- ・又、島(村)内放送での事前告知を増やす様、お願いしていきたいと思います。

然し、此の方法には高年齢者が敏感に反応戴くと云う、苦しい部分も一点在ります。

- ・サポーターのネットワーク造りの広報に関しましては、**開催場所を提供頂いた商店の方々の協力**が得られるよう、今後、コミュニケーションを密にして構築したいと考えます。

※上記 2 点を付加して行く事により、ターゲットで在る方々に警戒心を抱かずに興味を抱いて戴けるのではないかと考えます。又、女性同士の「ゆんたく」は大きな力と考えます。

○企業支援・協賛の構築に付いて。

- ・今回お世話に為った企業体には、これを機会にがん対策推進の理解を戴き、本プロジェクトのサポーターとしての役割を担って戴ける様、窓口確認が叶いましたので、より具体的な行動を持って働きかけていきたい、と考えて居ります。
- ・現在働きかけの対象と考えている企業体
株式会社サンエー、琉球ジャスコ株式会社、沖縄県農業協同組合、八重山観光フェリー株式会社、有限会社安永観光、その他
- ・公益信託の活動支援基金等の積極的な助成受諾活動の推進
那覇市 NPO 活動支援基金募集(助成金 50 万円)に申し込み予定(冊子編纂基金での募集)。
今後、近い内に創設される「地域づくり・公益活動支援事業」の一環である「まちづくりファンド」に登録を検討中。

■地域行政のがん対策の内のタバコ対策推進への取り組みに付いて

今回、**3つの離島圏 13の離島**を、本プロジェクトとして訪ねさせて戴いて、特に**タバコ対策の無政策**が目に残ります。

基本的に健康増進法に基づき、今年度 4 月より実施内容が厳しく為ったにも関わらず、且つ、がん対策推進項目の中にも目標が具体的に掲げられて居るにも拘らず、**公共機関・公共施設での明確な対策が施されて居るとは言い難いのが、離島圏の現状**です。

具体的には、

- ・各離島公民館の屋内では灰皿が散乱し、分煙も可能とは考えづらいにも関わらず、何も対策が講じられて居ない。
- ・空港ターミナル(一部の)・離島栈橋(殆どの)は室内には灰皿は無いが、入口外部付近の非喫煙者が避けようにも避けられない様な位置に灰皿が並んでいる。勿論、分煙設備など無い。
- ・在る保健センターでの事、其の施設には灰皿の設置は見止められなかったが、喫煙者が建物外(敷地内)で喫煙を始めると、施設の方は注意をする処か、代用の灰皿を提供する始末である。

少なくとも、**公共機関・公共施設に置く敷地内完全禁煙施設、施設内完全禁煙施設、分煙設備が整った分煙施設の明記化を即実行し、ルールの浸透を促進すべきだ**と考えます。

本報告書作成日 2010/05/14 第一稿

「がんかわら版 出前屋」代表 三木雅貴 事務局 那覇市松川 2-4-10-902

T&F 098-884-0345 E-mail inomiki1104@tea.ocn.ne.jp

【「がんかわら版 出前屋」プロジェクト前期実施報告書】

目 次

■実施データの分析

- 各開催地データ(開催時期・開催地・配布資料数・来場者数)
- ワンクールを総括致しますと
- ワンクールでの協力・支援を戴いた企業・団体・個人・報道関係
- 来場者の特色
- 開催場所で提供させて戴いた資料に関しまして
- 開催広報の方法に付きまして

■開催場所に置いて質問をさせて戴いた内容に付きまして

- 質問内容は
- 回答内容は

■開催場所で拾った声

- 来場頂いた方の声(質問も含む)
- 行政関係者の声

■前期実施内容の分析と今後の在り方に付いて

- 開催場所に関して
- 来場者のターゲットに関しまして
- 配布用情報提供資料に関しまして
- 開催広報の在り方に付いて
- 起業支援・協賛の構築に付いて

■地域行政のがん対策の内のタバコ対策推進への取り組みに付いて

■資 料

- 各会場での地域新聞掲載記事一覧